

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
保健体育	保健	1	一斉	共通	1

教科書（発行所）	現代高等保健体育（大修館書店）
教科書以外の教材	現代高等保健体育ノート

<b>目 標</b>		(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付ける。		
	<b>学期</b>	<b>学習事項</b>	<b>学習内容</b>	<b>考査等</b>
<b>学習計画</b>	1 学期	<b>1 現代社会と健康</b> 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康の姿 03 生活習慣病の予防と回復 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復  <b>2 安全な社会生活</b> 04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当 06 心肺蘇生法	<b>1 現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて、以下の事項を理解し説明できるように学習をする</b> 01 さまざまな健康の考え方、健康を成り立たせている要因 02 わが国の健康水準の変化とその背景、現在の健康問題 03 生活習慣病の種類と要因、一次予防・二次予防について 04 がんの種類・原因、一次予防・二次予防について 05 がんのおもな治療法・緩和ケア、検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について 06 健康と運動の関係、目的に応じた健康的な運動のしかた 07 食事と健康の関係、健康的な食事のとり方 08 健康と休養の関係・適切な休養のとり方、健康と睡眠の関係・健康によい睡眠のとり方  <b>2 安全な社会づくりのための様々な備えや技能について、以下の事項を理解し説明と実践ができるように学習する</b> 04 応急手当の意義、傷病者発見時の確認・観察するポイントと技術 05 日常的なけがや熱中症の応急手当手順・方法と実践 06 心肺蘇生法の方法と手順及び技術の習得	期末考査  救急救命講習会
	2 学期	<b>1 現代社会と健康</b> 09 喫煙と健康 10 飲酒と健康  11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	<b>1 上述とおなじ</b> 09 喫煙と受動喫煙の健康への悪影響と個人と社会の喫煙対策 10 飲酒による健康への短期的・長期的影響、健康問題に対する個人と社会環境への対策 11 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響、乱用防止のための個人や社会環境への対策 12 精神疾患の発病要因と症状、現代社会における精神保健の課題 13 精神疾患の予防法、早期発見に必要なこと 14 精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境 15 感染症とは何か、潜伏期間や感染力、新興と再興の感染流行要因 16 感染症予防対策の3原則、個人と社会の対策 17 性感染症・エイズと他の感染症との相違点、個人と社会の予防対策	期末考査
	3 学期	18 健康に関する意志決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり  <b>2 安全な社会生活</b> 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全	18 意志決定・行動選択に与える要因と健康に関する適切な意志決定・行動選択の際の工夫 19 社会環境の健康への影響、ヘルスプロモーションの考え方とその環境づくりの特徴  <b>2 上述とおなじ</b> 01 事故の実態と被害の実態、事故発生の人的要因と環境要因 02 安全に必要な個人行動とすべての人の安全確保に必要な環境整備 03 交通事故防止における個人の取組と交通環境整備、交通事故3つの責任	学年末考査
<b>授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等</b>		♪①保健ノートや配布されるプリントやタブレットで配信される資料で保健用語をしっかりと理解する。 ♪②理解したことを具体的に説明できるように新聞やニュースなどの時事問題にも関心を持つ。 ♪③学習した内容から自らの生活行動や集団での生活行動を振り返り課題・改善策を発見してみる。		

<b>評価の観点</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考力・判断力・表現力</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
<b>評価の方法</b>	①定期考査結果 ②保健ノート・タブレット配信課題やプリントの記入内容からの理解度		